

入館者からの感想や意見・要望等

広島祈念館 1頁～3頁

広島祈念館における入館者からの感想や意見・要望等

1. 概要

平成14年9月から「感想ノート」を置き、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。

外国語（英語、韓国・朝鮮語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語等）の記述が多く見受けられる。

2. 主な意見・要望等

(1) 施設について

- 入館者が少ないことが残念。資料館に来館した人が、もっとこちらにも立ち寄って頂けるように出来ないのかと思います。（一部抜粋）

(2) 展示について

- お1人お1人が命をかけ、守るべきもののために勇敢に戦ったことを「誤った国策」などと表現なすることは、お1人お1人のお名前、お顔、思いを大切にしたいコンセプトの展示をなさる貴館のご姿勢と、果たして矛盾はないのでしょうか。（一部抜粋）

3. 感想（感想ノートの原文のまま掲載）

(1) 祈念館について

- 体験していない今の子どもたちだからこそ、知るべきだと思います。知識を得て、同じことを繰り返さないように。外国の方のほうが利用者として多いのは喜ばしいことかもしれませんが、では日本人は…？
- おじの、被爆体験記の所在を知ることができました。おじは存命中、被爆の事を語らなかったので、詳細がわかりませんでした。ありがとうございました。
- どうしても資料館の方に行くことが出来ず、広島に来た際はこちらに来館しています。それでも、胸がつまります。一発の原爆が、70年経っている今でも人々を苦しめることを世界に語らなければ！と実感します。また寄らせて頂きます。

(2) 展示について

- 体験談はパネルや写真より心に残ります。
- 「私、死ぬる」という言葉が深く胸に突き刺さりました。痛かっただろう、苦しかっただろうと思うと辛い気持ちになります。安らかに。

- 私は現在、念願だった中学校教師をしています。本日ここに来て、映像の水槽に覆い被さるようにして子どもたちを守り死んでいった先生の姿に胸が打たれました。自分ができることは何か、平和とは何か、考えたり、尊ぶ機会を作っていたいと思いました。自分もそのような先生になれるよう頑張ります。
- 四國五郎さんの展示。とてもよかったです！私も平和のために絵を描きたいと思いました。

(3) 平和に向けての主張

- 日本人よりも外国人の方がこの資料館に来ており、外国人の方を尊敬すると同時に、もっと日本人が平和について知り、原爆のことを世界に広める必要があるのではないかと思います。これからの日本を作っていくことになるであろう僕はもっと平和について学ぶ必要があります。
- わたしは、ひいおじいちゃんに会ったことがない、だからいつもここに来て、ひいおじいちゃんの話の聞いたり顔をみたりしている、ひいおじいちゃんも動画で言っていたが、「こわかった」「人があちこちに死んでいる。」と……当時、その場所にいたひいおじいちゃんはとてもこわかったと思う。あちこちにたおれ死んでいる人、けがをしている人、なにもしてないのにころされた人。死んだ人の家族。とてもたえられなかったと思う。このことから、みんなのために、自分のために、生きることは大切だと思った。わたしはこのようなことがまた、おこってはいけない、だから外国のかた、海外の方にこれからも知らせていきたい、もっとげんばくのことをしてもらいたい。
- 平和学習をしようと思い、友人と二人で訪れました。被爆された方の遺品、手記を見るたび何とも言えない、言い表しようがない気持ちになりました。今回広島へ訪れ自分が感じたことや、見たことをより多くの人に伝えるのが自分の役割であり、未来にこのようなことがおきないように、努力しようと感じました。

4. 外国人からの感想

(1) 祈念館について

- この祈念館の彫刻と建築は失った魂を讃えるに相応しい素晴らしいものだ。(キプロス)
- 閲覧室のスタッフに感謝します。あなたが私の祖母の証言の記録を見つけてくれたことに永遠に感謝します。彼女の思い出を生かしてくれてありがとう。(国名不詳/英語)

- ここを訪れ、証言を聞いて私が感じたことはとても言葉には出来ません。謹直で教育的な方法でこの歴史の一部を提供して下さり、ありがとうございます。(国名不詳/英語)
- 今も現実に戦争(紛争)は起こっているけどこの祈念館が戦争(紛争)のない世界を促進できる事を願っています。(国籍不明/中国語)

(2) 展示について

- 再び起きるべきではない戦争の決して忘れてはならない体験記がとても印象的でした。(オランダ)
- 原爆にあった個人個人の体験談のビデオは非常に感動的で力強かったです。わたしはこの制作にかかわられた全ての方々に感謝いたします。(国名不詳/英語)
- 被爆者の声を残してくれてありがとう。そして彼らの体験を世界に伝えてくれて。世界は戦争が生んだ悲しい都市のことをもっと知り、学ぶ必要がある。(国名不詳/英語)

(3) 平和に向けての主張

- この悲劇の犠牲者や、その遺族が直面した痛みや苦難を感じて 私は泣きました。とても胸が張り裂けました。政府がこの展示を”平和に生活する事が前へ進む唯一の方法である。”という世界への例としてとりあげる前向きな努力をととても高く評価します。平和とより良い意識が世の中に行き渡りますように。パキスタンと日本の両方を想っている一人のパキスタン人より。(パキスタン)
- 私は学校で、広島で起こった出来事の多くを学びましたが、実際にここに来て、たくさんの恐ろしく痛ましい話を聞いて、私は自分の国の行動に恥ずかしさを感じずにはられません。今は試練の時です。この場所からは、憎しみの代償だけでなく、愛の価値や、人類愛がいかに互いの誤解から私たちを救うかを学ぶことを願っています。世界の平和への絶え間ない支援と支持に加え、将来の世代の学習を促進するという彼らのコミットメントにおいて、ここの地方政府に感謝しています。互いの違いは脇に置き、豊かな未来の文明を作るために協力しましょう。(アメリカ)
- この重要な場所をありがとう。私達はいつまでも平和を願っています。(オーストラリア)